

27. 一方向凝固FRM装置 1 20,000 千円
 小 計 494,000 千円

予 算 費 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	計
管 理 部 建 屋	288,000	0	0	288,000
部 門 研 究 室 建 屋	612,000	0	0	612,000
(注1) 共 通 施 設 建 屋	492,000	48,000	0	540,000
施 設 予 算 上 下 水 道 施 設	100,000	0	0	100,000
受 変 電 施 設	250,000	0	0	250,000
暖 冷 房 施 設	230,000	0	0	230,000
(注2) 開 設 費	100,000	50,000	50,000	200,000
設 備 予 算 部 門 設 立 お よ び 共 通 施 設	506,000	1,100,000	494,000	2,100,000
計	2,578,000	1,198,000	544,000	4,320,000

総額 43億2,000万円(46夏物価)

(注1) ただし、敷地は国有地を使用し、宿舍建設費および取付道路費等は第1期工事着工前に決定する。

(注2) 大型電子計算機はレンタルとし、8,000万円/年を見積る。
 次年度以降も継続する。

8-54

総学庶第1683号 昭和46年11月9日

内閣総理大臣 佐藤栄作 殿

日本学術会議会長 江上不二夫
 写送付先：大蔵、文部、厚生および農林
 各大臣、大学基準協会会長、国
 立大学協会会長、公立大学協会
 会長、日本私立大学協会会長、日
 本私立大学連盟会長、私立大
 学懇話会長

獣医学修業年限の延長について(勧告)

標記のことについて、本会議第59回総会の議に基づき、下記のとおり勧告します。

記

最近、わが国における畜産の重要性がいよいよ増大するに伴い、家畜疾病の予防についてはいうまでもなく、家畜ならびに畜産物に由来する人間の疾病の予防が、またきわめて重要な課題となり獣医学の向上、獣医師の資質の向上が社会的に強く要請されるに至っている。現在、わが国の獣医学の修

業年限は、教養および専門教育を含めて4年であって、上記の要請を満たすにははなはだ不十分である。一方世界の62か国の実情を見るに、獣医学教育においては、専門教育に4～7年の年限を費やしている。上記の社会的要請にこたえ、かつ、わが国の獣医学並びに獣医師の資質を格段に向上させ、国際水準にもおくれをとらぬようにするためには、獣医学修業年限を、専門教育4年を含む6年に延長することが緊急に必要である。

政府は、すみやかに学校教育法第55条・大学設置基準（文部省令）の改正等、上記目的達成のため必要な措置を講じられたい

（理 由）

獣医学は家畜の疾病の診断・治療および予防を行なって、畜産の発展を推進すると共に、家畜ならびに畜産物を人間生活に利用する際に重要な課題となる、人畜共通伝染病・寄生虫病等の予防および食品衛生の観点から、家畜に由来する人間の疾病を未然に防止するという使命をもっている。したがって、獣医学の研究教育において、基礎獣医学・臨床獣医学・家畜衛生学・獣医公衆衛生学等、きわめて広汎学問の研究と教育が必要であり、かつ、これらを十分に修得した高い資質の獣医師を養成することがきわめて重要である。

特にわが国における現行の獣医学修業年限は、教養および専門教育を含めて4年間にすぎないために、この根幹的な獣医学の専門教育を行なうにも、修業年限が絶対的に不足している。獣医師は国民の生命財産に直接関与する職務に従事するので、獣医師の国家試験の基準を高め、国際的水準の獣医師を養成するためには、諸外国と同様に、少なくとも、専門教育の年限を4年に延長し6年間の大学教育を行なう必要があることは、20年前から関係者によって運動が続けられていたが、いまだに4年の大学教育のままに放置されている。

最近におけるわが国の食生活の上では、畜産食品の消費が急激に増しており、これに伴って家畜飼養養数は急増を続け、さらに外国よりの家畜および畜産物の輸入は年々増加している。このような事情に関連して、海外悪性伝染病の予防、集団飼育化に伴う家畜衛生上の新たな技術問題、食品衛生の万全等のために獣医師の責務はますます重くなってきた。

また、最近において、食品添加物、合成食品、新薬、農薬の安全性のための動物実験が重視されるに至っているが、この分野においても獣医学ならびに獣医師の責務が増大している。

これらの事情によって明らかなごとく、獣医学教育は獣医学術の進展に伴う内容の高度化ばかりでなく、その範囲も著しく拡大されなければならない。諸外国における獣医学教育では、専門教育だけに4～5年が割当てられているのが一般であり、中にはスウェーデンのごとく、専門教育のみに7年が費やされている大学もある。専門教育年限が2年余に過ぎないわが国の獣医学教育は、獣医科大学を有する62か国のうち最も短かく、したがって、わが国の獣医師は国際交流に際してもはなはだ不利な立場に置かれている。

この機会には本会議は、獣医学の研究を振興し、高い資質の獣医師を世に送るために、獣医学教育を6年制に改善することを、すみやかに実現するように政府に勧告するものである。